

## 令和3年度 保護者向け 放課後等デイサービス評価表 集計結果

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	事業所側の対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	94(%)	6(%)	(%)	・少し狭いような感じがするが工夫で解決できる。	昨年6月から登米町に拠点を移し活動しています。活動室の総面積は中田町の時よりも広がっていますが、活動の内容によっては狭く感じる場合があります。近隣の体育施設をお借りしたり、廊下のスペースを有効活用することで解決できています。今後も活動内容の工夫やスペースの有効活用で十分活動を楽しめると考えています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	88	12			職員の配置は常に基準を上回っており、十分な数を確保しています。(国の基準では利用者10名に対して支援員2名)職員の専門性については発達障害に対しての正しい理解や支援力の向上に向けて研修に努めています。毎日、その日の振り返りを行い、問題点を洗い出し次につなげるようにしています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	94	6		・適度な段差があってよいと思う。	登米町に新しい建物を造るにあたり、子どもたちの成長にプラスになるような構造にしようとし話し合いを重ねました。中2階があったり、隠れ家的なスペースがあったりと子どもたちの好奇心をかき立てるようなつくりになっています。バリアもありますが、体幹作りやバランスを整える機能訓練に生かしています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	94	6			研修を受けた児童発達管理責任者が、サービス等利用計画書に沿った個別の支援計画を作成しています。契約時や6ヶ月ごとのモニタリングの時には、保護者の方のご希望をよく伺い、日頃の子どもの成長を鑑みて、その子にあった個別支援計画を作成し、保護者の同意の元に支援をしています。また、SM社会生活能力検査等の客観的なツールを活用して、より効果的な支援計画にしています。
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	88	12			指導員中心のチームで、月間スケジュールや日々の活動の段取りを考えています。活動項目は運動、音楽、科学、芸術、調理、子ども会議と多岐にわたり、季節ごとに歳時記を意識した活動も、すべて曜日を固定せずに行っています。それらは、子ども達の状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせています。また活動室内(主に玄関や廊下の壁面)は子ども達の作品の発表の場として整備し、本人の意欲向上を図っています。にこま〜の特色であるイベントへの参加、社会見学などは、現在コロナ禍でできにくくなっていますが、状況が改善したらすぐ動き出せるように準備しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	94		6	・コロナ禍のためか以前より少なくなっている。	現在の活動は主ににこま〜の子ども内で完結してしまっていますが、奏海の社は子どもを地域の中で育てるという理念を掲げています。今後は地域内の他事業所と合同のイベントを企画する、児童館と職員間の交流を図るなど、子ども達が交流できる機会を図っていききたいと思います。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	94	6			契約時、モニタリング時に、時間をかけて管理者/児童発達管理責任者が説明しております。期の途中での変更については、その都度お便りを出して周知を図っているつもりですが、ご不明な点がありましたらいつでもお問い合わせください。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	94	6			保護者の方々とは送迎時や連絡帳でその日の子どもの状況を伝え合い、子どもの状態や課題について共通理解を図っております。今後もぜひお家での様子をにこま〜に教えてください。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	94		6		送迎時などその都度お話をさせていただいていますが、モニタリング以外に改めて面談の機会は設けておりませんでした。助言や面談は随時受付けております。児童発達管理責任者にお声がけください。

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	76	24		登米町に拠点を移すにあたって保護者の方のご意見を重視したいと考え、保護者会を開催しました。先日の保護者会で9回目を数えました。交ゆう館かなみの建築に当たってはほんとうにたくさんのご協力をいただきました。今後も奏海の杜の運営についてご助言やご協力をいただくことが多々あると思います。よろしくお願いたします。	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	94	6		苦情に対する対応は、その都度誠意をもって行っております。人員や資金の面からご希望に沿えないことも多々あり、保護者の皆様には声を上げることなく様々なご協力をいただいているかと思えます。気になることがあればぜひお声がけください。引き続き体制を整え安定した事業を行えるよう精進してまいります。	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	94		6	・連絡帳のチェックがされていない時がある。 ・電話がなかなかつながらない。	子ども達にもたせていただいている連絡帳が、にこま〜と保護者の皆様を繋ぐ大きなパイプです。スタッフは毎回必ず目を通し、にこま〜での様子を記入しております。ぜひ活用してください。今回連絡帳の記入忘れをご指摘いただきました。今後は記入忘れのないように配慮してまいります。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	94	6		・フェイスブック等でよく分かる。	定期的に会報を発行し、活動の様子をお知らせしています。最近SNSでも日々の様子が手に取るように分かるようにしております。また、連絡体制等の情報や保護者アンケートの結果についても適切に保護者の皆様にお知らせしております。
非常時等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	100				個別支援計画や個人情報は子どもごとにファイルを作り、鍵のかかる書庫で保管しています。支援に必要な情報はスタッフ内で共有しますが、雇用契約時に個人情報の取り扱いについて、守秘義務の徹底を誓約書で取り交わしています。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	82	18		・マニュアルを保護者も共通理解したいので冊子等を作り配布してほしい。	施設として必要なマニュアルは整えていますが周知が足りませんでしたので、事務所の見やすい場所に設置して必要な時はいつでも見られるようにしました。今後は定期的にマニュアルの見直しを行い、保護者の皆様と共有するようにしたいと考えます。
満足度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	82	18			避難訓練は子ども達とともに年に2回を目標に実施しております。放課後の短い時間の場合、送迎中の場合、職員が少ない場合など様々な非常時を想定して行い、子ども達の安全確保に努めて参ります。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	100			・とても楽しみにしている。寝る前に必ず確認する。	子ども達の笑顔が支援員の活力です。にこま〜に通いたい！と笑顔で言ってくれることを願い、日々の支援に取り組んでおります。
	18	事業所の支援に満足しているか	100			・学校と情報を共有し、同じように支援をしてくれる。	保護者の方々の事情に合わせて早いお迎えや延長支援は行っておりますが、日曜の支援は行なっておりません。その点はご希望に沿えず申しわけありません。子ども達へのいい支援のためには、支援者の十分な休息が不可欠ですので、しばらくは今の体制で行かせていただきますが、引き続き私たちのできる範囲を広げられるよう誠意努力してまいります。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。